「水軒堤防の再生」と「市民の公園の実現」

和歌山県和歌山市

水軒の浜に松を植える会

和歌山市西浜にある「水軒堤防」は、江戸時代中期に整備され、昭和34年和歌山県の史跡にも指定された約１ｋｍの石積み堤防です。この堤防を含めた「水軒の浜」では、昭和40年代に、前面の海岸が埋め立てられ工業団地になるまでは、大勢の人が集まる白砂青松の美しい浜の海水浴場として、利用されていましたが、埋立て後、海岸には、不法投棄が絶えず、かつての美しい砂浜の姿は、消えて行きました。

「水軒の浜に松を植える会」では、「水軒の浜」を清掃し、埋立て後に激減した松を復活させることによって、美しい風景を取り戻すことを目的に、住民の有志で結成しました。

同会では、基本コンセプトを『水軒の浜を「史跡石積堤防」、「白砂青松」、「健康推進」をテーマにした歴史公園に！』と、目指す方向を明確にして、平成20年から活動を行っています。

主な活動内容は、「水軒の浜（延長約1.7km）」にて、松などの植樹・清掃や公園整備活動に取り組んでいます。

植樹・清掃活動においては、地元の小・中学生を参加させて、継続的に活動を行えるための動機付けをする工夫をしており、その工夫として、2000本以上の松のデータを植樹者毎に管理しています。他にも、校区内の西浜中学校校歌の歌詞にある浜木綿(はまゆう)や桜など様々な種類の植物を植えています。

また、公園整備活動では、遊具、ドッグランやフットサルなど集客施設を整備し、集客の仕組みだけで無く、東南海地震発生に伴う津波襲来に対する防災拠点として、「水軒の浜」の高台の土地を更に嵩上げし、平時は、見晴台とし、災害時には、命の山となる整備をし、「水軒の浜」が郷土愛を醸成する場になる取組みを行っています。

また、近隣地区の名勝和歌の浦にて、「玉津島保存会」が設立され、文化的な活動が始まるなど、周辺への波及効果も、伺えます。

不法投棄が多かった水軒堤防

松の植樹をする中学生

整地前の様子

整備後の様子

◆所在地
　和歌山県和歌山市西浜地内
◆活動内容
　日々の清掃活動、年５回程度の水軒の浜クリーン作戦、地元中学生による松の植樹（平成20年～）、公園整備、シンポジウム開催　など
◆活動主体及び連絡先
　水軒の浜に松を植える会（ 073-444-0766）
◆対象となる社会資本
　水軒堤防
　※管理者：和歌山県県土整備部港湾空港局（港湾空港課：073-441-3163）